

現場・市民 目線で市政チェック。 「いいね！」あふれる大和に。

討議資料

発行元：小田博士後援会

平成28年春 vol.005

後援会にご加入ください

おだひろし 大和市議会議員 元産経新聞記者

小田博士の 市政かわら版



3月議会一般質問 少子化対策で具体案提案 民間の婚活事業 市が支援策検討へ



3月15日の大和市議会本会議で一般質問を行い、少子化対策の具体案を対象別に提言しました。主に男性向けでは「イクボス」「イクメン」の促進、女性向けでは在宅ワーク支援、若者向けでは婚活事業支援、子供向けでは子育て体験授業の導入を求めました。

大木哲市長は婚活事業支援に関し「未婚者のニーズを把握するアンケートや他市の先行事例などを参考に、具体的な支援策を検討する」と前向きな意欲を示しました。その上で、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）を推進する企業に対する支援策として、「男女がともに働きやすい職場づくりに積極的に取り組む事業者などを認定、表彰する制度の創設を検討したい」と表明しました。

市民経済部長は、在宅ワーク支援事業の導入について、「（市が3月に策定した）『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の目標の実現にもつながる。調査研究したい」と答弁しました。

少子化対策は国、地方を問わず待ったなしのテーマです。対策拡充に向けて、今後も積極的に提言していきます。

その他の主な質疑（要旨）

【資源持ち去り】（環境農政部長答弁）

Q. 新聞・古紙の持ち去りの状況は？ どんな対策を講じているか？ 刑事告発も辞さず強い姿勢で臨むべきだがどうか？

A. 通報件数は平成27年度は2月末現在で65件と減少しているが、持ち去りが続いている。本市では新聞古紙回収日に巡回パトロールをしているほか、GPSを使用した追跡調査、警告看板の設置、警察や自治会との連携、近隣市との情報交換などの対策を行っている。命令に違反した者に対しては、刑事告発を含め毅然とした対応で臨む。

【狭隘道路の拡幅】（街づくり計画部長答弁）

Q. 市内に狭隘道路はどの程度あるか？ 整備実績は？

A. 幅員4m未満の狭隘道路は市内約5200路線のうち約500路線だ。これまで1668件の用地を寄付などで取得した。

Q. 防災の観点からも、重点地域を設定して拡幅を進めるべきだ

A. 狭隘道路の整備は進めるが、スタンドパイプ、消火資機材の設置や耐震化・不燃化対策などにより防災性の向上を図りたい。

【政治的中立性】（文化スポーツ部長答弁）

Q. 一般論として伺う。特定政党の県内の議員がズラツと並び、その前で特定政党の国会議員が政治的主張を訴えた。このようなイベントは行政の後援事業としてふさわしいか？

A. 市が後援した事業でご質問のような事例があることは望ましいことではないが、一つの出来事のみで事業全体の適否を判断することも難しさがある。事前に申請者に確認したり注意を促したりして対応したい。

【教育問題】（教育部長答弁）

Q. 組体操によって、これまでに骨折などの大きなケガは報告されているか？ 実施状況と今後の考えは？

A. 今年度の組体操の実施校は小学校は5、6年生を中心に19校中17校、中学校が全学年男子を中心に9校中5校。ピラミッド型は小中学校で各1校が7段、その他が3段から6段、タワー型では小学校2校と中学校1校で4段、その他が2～3段となっている。過去3年間の骨折などの件数は小学校7件、中学校1件だった。高さを伴う技では、特に安全に配慮し十分な人数で補助するなど、事故の予防に努めながら実施していく。

大和市が「創生総合戦略」と「ビジョン」策定 少子化対策の拡充 待ったなし

大和市は3月、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「人口ビジョン」をまとめました。これは、政府が全国の自治体に年度内の策定を求めているものです。市側から市議会各会派に意見・要望を提出するよう依頼があり、私も昨年12月、会派「自民党・新政クラブ」の要望書を通じて具体的な提案を提示。その一部を同戦略に反映していただきました。

人口ビジョンによると、大和市の合計特殊出生率は2005年の1.13を底として大きく上昇し、2013年には全国水準近くの1.41まで回復しました。ただ、年齢構成を見ると、15～64歳の生産年齢人口の割合が減少。人口移動に伴う「社会増減」では、30歳代を中心とした世代の転出超過が目立っています。

これらの現状を踏まえ、大和市では「希望出生率」（＝国民の希望がかなった場合の出生率のこと。合計特殊出生率とは異なります）を2030年に1.76まで押し上げ、2060年には、現在より約2万人減にとどまる人口約21万人とする将来展望を示しました。また、目指すべき方向性として30歳代の転出抑制や、北部・中部・南部で人口のバランスをとることも打ち出しました。

総合戦略では、若い世代の就業、結婚、出産、子育ての希望をかなえる取り組みをはじめ、人口の「自然増」を促すことを基本に、「社会増」の取り組みも進めると明記。「結婚から出産、子育てが楽しくなるまち」など4つの基本目標を掲げました。

総合戦略と人口ビジョンは、市のホームページに掲載されています。特に人口ビジョンは、関連データが分かりやすく紹介されており、必見です。

図表 5-8. 大和市の将来展望（総人口）



〔図表は大和市の「健康都市やまと 人口ビジョン」から転載〕

初当選から1年 定例会も一回り

昨年4月に初当選させていただいて以降、ほぼ1年間が経過。この3月議会をもって、年4回開かれる市議会の各定例会を一通り経験しました。

大和市議会は中規模の自治体です。私が新聞記者時代に取材していた国会や県議会等とは勝手が異なる部分も多く、戸惑う場面もありましたが、おおむね勘所はつかめたつもりです。



キャッチフレーズの「現場主義」を実践すべく、市議会委員会や会派による視察に加え、超党派の「全国若手市議会議員の会」や個人的な活動の一環として栃木県足利市、千葉県柏市や東京都武蔵野市の施設なども視察しました。セミナーや勉強会にも積極的に参加しています。

日々の活動や一般質問の議事録はホームページ (<http://www.odahiroshi.jp>) 等で、わかりやすく、精力的に発信しています。是非ご覧になってください。

◆プロフィール

昭和50年1月5日生まれ
大和市出身／上和田在住

- 昭和56年 高座みどり幼稚園卒園
- 62年 西鶴間小学校卒業
- 平成2年 南林間中学校卒業
- 5年 中央大学附属高校卒業
- 10年 上智大学経済学部卒業
- 26年 産経新聞社を自ら退社
- 27年 大和市議に初当選

◆市議会等での役職

環境建設常任委員、議会運営委員、基地対策特別委員、議会報編集委員、交通安全対策協議会委員、社会福祉協議会評議員

◆その他の活動

大和中央シティライオンズクラブ、大和市倫理法人会、全国若手市議会議員の会、隊友会など

◆産経新聞記者（16年間）当時の職歴

東京本社・整理部→千葉総局（県警や県政）→社会部（文部科学省や司法）→政治部（首相官邸や自民党、公明党、民主党、防衛省など）

市政報告会

4月10日（日）午後2時より、コミュニティセンター桜丘会館（大和市上和田860-1）で市政報告会を開きます。どなたでも無料で出席できます。気軽にご参加ください。

小田博士後援会 〒242-0014 大和市上和田1792-2-301

〈TEL〉046-206-5567 〈FAX〉046-206-4288 〈MAIL〉h-oda@nifty.com 〈HP〉<http://www.odahiroshi.jp>

↓ブログも随時、更新中↓